Vol.16 シェフの作るこだわりのタコライス

CHALLENGER

タコライス専門店

Deadman Shayne（デッドマン シェイン）さん（54歳）
麻美（あさみ）さん（38歳）
（起業１年目・北田町）

Q. 今のお仕事を教えてください

北田町にあるKITADA（キタダ）SARUGGA（サルッガ）（以下「サルッガ」）内でタコライス専門店を経営しています。

Q. 起業のきっかけは？

設計士をしている妻と鹿屋に移住した際、友人にタコライスをお土産として作っていたところ、多くの人から喜んでもらったことがきっかけです。以前、北田町で行われていた「食と暮らしのマルクト」が雨のためサルッガ内で開催されたときに、飲食店にチャレンジできるスペースがあると知りました。起業の際は、市の方にアドバイスなどたくさんの協力をいただきました。

Q. 今後の目標を教えてください

北田商店街の雰囲気がとても気に入っています。ゆくゆくは、自分のレストランをオープンしてディナーも提供することが夢です。

シェインさんは来日経験が３回ほどあり、今では母国ニュージーランドに帰りたくないくらい日本が好きとか。ここでしか味わえないこだわりのタコライスは、子どもでも食べられる甘口でテイクアウトも可能です。

営 11:00～18:00
休 月・火 TEL 0994-45-6168

起業を考えている人や、経営改革・経営革新を検討している人への支援を行っています。
何でもご相談ください。
問 市産業支援センター TEL0994-40-7890

編集後記

恵まれた自然を有する鹿屋市。鳴之尾牧場の爽快な景色や高隈山の登山を楽しむことができるのも、先人の努力あってのことだと改めて感じました。（池之上）

方向転換や細かな修正を何度も行って作る広報誌。今月は決算で一苦労。それでもモノを作る、完成したモノが残る仕事ってありがたいです。（久冨木）

巻きで進めたはずの取材が、気づいたら１時間以上になっていた「結（ゆい）SANMARINO（サンマリノ）」さんの取材。居心地良く、ついつい長居したくなるのが分かりました。（櫛間）

きっかけは色々ありますが、鹿屋市を選んでくれた人たち。長年住んでいると感じなくなってしまう「鹿屋の良さ」を皆さん笑顔で話してくれました。（下曽山）

✂キリトリ線

お便り＆メッセージ

ご協力ありがとうございました。

ご応募の際にご記入いただきました個人情報は、抽せん・賞品（賞品引換券）の発送・アンケート統計以外の目的で使用することはございません。